第１３期

事　業　計　画　書

収　支　予　算　書

自　令和６年　４月　１日

至　令和７年　３月３１日

公益財団法人　復　康　会

も　く　じ

令和６年度　事業計画書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

令和６年度　収支予算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５

令和６年度事業計画

運営方針

公益財団法人復康会は、令和５年度より第５次中長期経営計画を新たにスタートさせた。令和５年度の事業計画は、この中長期経営計画における初年度計画として、両者が連動するよう策定されている。令和６年度事業計画は、中長期経営計画が最初の１年をほぼ経過した時点で、どのような成果を達成し、どのような課題を残したのかという進捗状況をふまえて策定した。

第５次中長期経営計画は、第４次計画の反省から、「掲げるだけの目標ではなく実効性を求める」ことを強調したうえ、「患者」から「利用者」へサービス概念を変革すること、「人権意識」の向上、人的資本経営の考え方の採用、全法人的な経営参画を特徴としている。

当法人の主な業態は対人サービスであり、折しも精神医療の領域ではこの度の関連法（精神保健福祉法）の大幅改正の中で人権擁護が強調され、法人の掲げる計画とは理念的な一致となった。当法人では内部通報制度を稼働させ、種々の課題を把握して対処したほか、身体的拘束ゼロ化にも全国に先駆けて取り組み、適切な方向に向け一定の成果を上げてきたことは間違いないが、本課題には常に満足することなく取り組み、さらなる高みを目指すことが肝要である。

いっぽうで社会情勢は人権擁護に逆行するかのように、戦争の長期化や新たな紛争の発生があり、全世界的な不穏さが増している。影響で物価高が進み、続けて賃上げムードが加速し、コロナ禍の影響も残る中、医療機関（診療報酬）においては健全経営に好ましい材料が乏しい。関連団体が活動を活発化させている中で、法人としても可能な努力は必要で、各職員の全法人的な経営へのさらなる理解と参画が不可欠である。働き方改革に向けては勤怠管理システムを刷新したが、様々な課題も経験した。未だ人材確保は深刻であり、人的資本経営の浸透をさらに深める必要がある。

引き続き社会の情勢をしっかり見据え、困難な難局を克服し、確実な成果にこだわり、時代に適応する法人運営をさらに推進することにより、理念である「愛・信頼・貢献」の実現を目指したい。

重点目標(第５次中長期経営計画における重点課題を踏襲)

1. 良質な医療・福祉サービスの展開
   1) 地域に責任を持った包括的で継続的な医療・福祉サービスの提供
   2) 公平で敏感な即応型医療の実践
   3) 適切で整合な仕事の探求
   4) 人権意識と当事者中心理念の浸透
2. マネジメント体制の強化
   1) 持続的な人材の確保・活用・育成とそのための体制構築
   2) 合理的な経営計画と法人運営による組織の健全化
3. 全組織的な経営参画
   1) 個々の職員による経営意識の向上
   2) 法人内各領域の有機的協働による機能的・効率的な組織支援

公益目的事業

１．地域に必要な専門分野の医療サービスを提供する事業

以下の病院施設の運営を行う。

- 沼津中央病院
- 鷹岡病院
- 沼津リハビリテーション病院
- 大手町クリニック
- あたみ中央クリニック
- 富士メンタルクリニック
- 訪問看護ステーションうしぶせ
- 訪問看護ステーションふじみ

２．障害福祉サービス事業

以下の社会復帰施設の運営を行う。

- サポートセンターなかせ
- サポートセンターりりぶ

・サポートセンターゆめワーク
・サポートセンターほっと
・サポートセンターひまり
・グループホームはまゆう寮
・グループホームカーサ岡の宮
・グループホームふじみ
・グループホームコーポ狩野
・就労支援事業所かのん
・就労支援事業所ワークショップまごころ
・就労支援事業所田方・ゆめワーク

３．介護サービス事業
以下の介護福祉施設の運営を行う。
・通所リハビリテーションうしぶせ
・訪問看護ステーションうしぶせ
４．医師・看護師その他医療スタッフ育成のための学生教育実習及び卒後の臨床研修への協力事業
・医師臨床研修制度の充実
・看護実習の受託
・作業療法士や精神保健福祉士、臨床心理士等の実習・研修の受託
・奨学金貸与の充実
５．専門知識や技術の向上のための研究協力事業
・倫理審査委員会の運営
・研究活動の拡充
・研究協力事業への幅広い参画
６．無料相談および助言事業
・無料相談事業の充実
・休日夜間精神医療相談窓口の運営
・行政機関、研究機関、職能団体、学術団体等への業務協力
・大学・看護学校等、医療教育機関への教育面での協力
７．保健福祉普及のための啓発事業
・認知症疾患医療センターとしての啓発活動
・災害対策及び地域防災活動への協力

収益事業

１．特別の療養環境の提供に関する事業
各病院において、患者の選択による特別の療養環境の提供。
２．日常生活の支援に関する事業
各病院における、日常生活で必要となる洗濯や金銭管理等の代行業務。
３．不動産賃貸業
病院内売店、アパート、駐車場並びに静浦ホテル跡地の賃貸を行い、公益事業を支える。

その他の事業

１．福利厚生事業 職員の福利厚生制度の充実

施設整備計画

１．建築設備評価に基づく老朽化対策と既存設備の有効活用
２．災害対策、備品類の充実
３．電子カルテシステム導入の検討
４．勤怠管理システムの更改

沼津中央病院グループ

運営方針

地域共生社会の実現に向け、信頼され、選ばれる医療機関として、あらゆるニーズに専門的にぅ儒できるよう、責任感・気概・志をもって当事者とともに使命に取り組むとともに、安全で質の高いサービスを提供し続けられるよう、自己を高め、他者を信頼し、社会に貢献していく。

重点目標

1. 人的資本経営のための人材育成と対応力の強化
   1) 好人材を引き寄せられるよう、良好な労働条件、豊富な業務経験機会、充実した指導体制が整い、雰囲気が良く、活気があり、魅力ある職場を実現する。
   2) 働き方改革への対応を通じ、個々の働き手が健全で、かつ公私ともに自己実現できるような労働環境を実現する。
   3) 困難な業務課題に対しても適切で、かつ個々人が低負担で無理なく対応できるよう組織力を強化し、常に専門的な向上心を高める意欲を喚起できるような職場環境および体制を充実させる。
   4) 職域に応じて、先ずは各個人が標準化されたスキルを体得し、そこからさらにステップアップして専門性を高め、課題も克服できるよう、効果的な人材育成のための院内教育システムの構築を目指す。

2. 医療サービス向上
   1) 常に地域生活を見据えし、包括的で切れ目がなく、統合的で公平なサービス体制を構築してケアを提供する。
   2) 地域生活の中で生じる急性の危機状況に即応できるよう、良質で高水準の精神科救急医療サービスを継続的に提供する。
   3) 当事者視点に立脚し、自立の促進によって権利と可能性を追求するケア理念に基づき、サービス提供する。
   4) 常に探求心をもってものごとに取り組み、より確かなエビデンスと合理性に基づいたサービスの提供を目指す。

3. 地域に責任を持つ
   1) 静岡県東部の精神科医療における中核的医療機関としての自覚を保ち、気概と責任感を持って当事者サービスに従事する。
   2) 地域社会の様々な分野と連携し、広い視野を持って地域貢献することを意識する。

4. 合理的かつ組織的な経営実践
   1) 限られた人的資源を有効に活用し、組織がその目的や目標を無理なく達成できるよう、各従事者個々人が数値目標を明確に意識し、ともに協力・準備して業務に従事する。
   2) 少子高齢化等、時代の変化に伴う社会構造や制度・体制の変革に対応できるよう、効率的かつ合理的な病院経営を実現する。
   3) 業務を支えている建造物、インフラストラクチャー等、病院資源に対する意識を向上させ、常に感謝の念を持つつとともに、持続可能な開発目標に応じた設備運用を行う。

● 事業所ごとの活動

1. 沼津中央病院

医療活動

(1) 法人内外連携による地域包括ケアサービス

- 精神科救急医療体制整備事業における常時対応施設と休日夜間電話相談の継続的な指定と運用
- 医療と保健福祉の連動による包括的地域サービスの展開および地域共生社会への貢献
- 退院支援・退院後支援（社会資源との連携や行政事業等による取り組み）の充実
- 診療パフォーマンスの向上（適正な診療件数・ニーズへの応需）

・入院外医療サービスの強化（包括的ケアマネジメント等）

(2) 多様なニーズへの対応
・児童思春期精神科診療（浜松医科大学、横浜市立大学との連携）
・圏域内総合診療（圏域内地域支援病院等との診療連携　医療連携室機能の発揮）
・治療プログラム（ぬま～ぷ、リワークおよび就労支援プログラム、摂食障害、心理教育、急性期作業療法、協働意思決定（SDM：Shared Decision Making)、栄養指導）の活用
・クロザピンの組織的活用（適応判断のシステム化と計画的導入による安全性の確保）
・修正型電気痙攣療法（m-ECT）の運用
・持効性注射剤（デポ剤）の活用
・適正な薬物療法とそのための組織的な取り組み
・隔離・身体拘束最小化の継続
・精神療法の充実
・災害派遣精神医療チーム（DPAT：Disaster Psychiatric Assistance Team）の活動支援と災害拠点精神科病院の運用
・ピア活動の更なる推進と部署の新設（フリートークの会）

(3) 法令とエビデンスに基づく標準医療の推進
・適切で正しい必要法令の理解
・標準的な治療の体得と推進
・厚生労働科学研究への協力
・職域ごとの研究推進
・レジストリの活用
・治験の推進

(4) 人材育成と強化、活用
・人権意識の向上
・クライシス対応スキル（ディエスカレーション、自殺ハイリスク等）の標準化
・定例研修（リスク、感染、行動制限最小化、虐待防止等）の開催
・専門上位資格の取得
・働き方改革への対応
・精神科専門医制度　専門研修プログラム研修基幹施設の運用
・ボランティアの活用
・奨学金制度の活用
・教育機関との連携による安定した人材確保

施設設備の整備計画
(1) 既存建物設備の維持
・修繕計画に基づく維持保全
・設備更新（空調、電気、衛生等）

(2) 人・環境にやさしい空間の創造
・癒し・休憩のとれる環境づくり（中庭の整備）
・地球環境に配慮した設備管理（省エネルギーへの取り組み）

地域貢献活動
(1) 公的機関への協力
・国、県、市町村、職能団体、研究機関、学術団体等からの要請応需
・大学、看護学校等への講師派遣
・実習病院の受託（看護師、薬剤師、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理士、調理師等）
・他分野（企業等）との連携と貢献

その他の活動
（1）情報管理の推進
・情報システムの適時更新・評価（カルテ、栄養、検査、薬剤、医事、院内情報管理）
・情報セキュリティ対策の強化
・医療DXへの取り組み
・人工知能（AI）活用の検討

（2）広報活動
・情報発信機能の強化

（3）感染症への対応
・新興感染症を見据えた体制の構築

（4）組織の健全化
・法令の順守
・内部通報システムの運用
・第三者評価の実施

2. 大手町クリニック
医療活動
（1）外来・入院間での円滑で切れ目のない医療ケアの提供
（2）安心して医療を受けられる・提供できる環境、体制の整備

施設設備の整備計画
（1）診療環境の継続的な改善

地域貢献活動
（1）地域の精神保健活動への協力

その他の活動
（1）適切な感染対策の継続

3. あたみ中央クリニック
医療活動
（1）地域ニーズを担い、スマートな医療体制
（2）高齢者への治療ケアの、スキルアップと体制充実
（3）勉強会・研修会の実施、地域施設の見学

地域貢献活動
（1）地域の精神保健活動への協力

その他の活動
（1）適切な感染対策の継続

4. 訪問看護ステーションふじみ（ゆかわ支所）
医療活動
（1）地域包括ケアシステムも踏まえた、関係機関との連携強化
（2）自立を促し、その人らしさを支える精神科訪問看護スキルの向上

地域貢献活動
（1）地域の精神保健活動への協力

施設設備の整備計画
（1）WINCARE システム（プリンター含む）の計画的な更新

その他の活動
（1）適切な感染対策の継続

入院･外来取扱患者数　　（定床：270 床）

	入院		外来		デイケア		一般外来計	
	期中延	1 日当	期中延	1 日当	期中延	1 日当	期中延	1 日当
沼津中央病院	92,710	254.0	17,580	60.0	8,228	34.0	25,808	94.0
大手町クリニック			20,412	84.0	4,360	20.0	24,772	104.0
あたみ中央クリニック			9,477	39.0			9,477	39.0

	訪問看護		作業療法（再掲）	
	期中延	1 日当	期中延	1 日当
沼津中央病院			19,360	80.0
訪問看護ステーションふじみ	7,325	25.0		

鷹岡病院グループ

運営方針

1 「必要な人に、必要な時に、人権および当事者視点に配慮し良質なサービスを提供する」ことにより、社会に貢献し地域から信頼される精神科医療機関として存続する。
2 法人内外の連携を深め、全組織的な取り組みを実施し組織力の強化を図っていく。
3 健全な経営を実現するために、職員全体で目標に向かい取り組んでいく。

重点項目
1 利用者の視点に立った良質で安全な医療・福祉サービスの提供
・多様な精神疾患に対応できる体制
・地域に責任を持ったサービスの提供と地域連携の推進する
・人権意識と当事者中心理念の浸透
2 マネジメント体制の強化
・次世代を担う人材の確保・活用・育成と、そのための体制整備
・法令順守と社会の変化に対応したルールの見直し
3 全組織的な経営参画
・職員各々が経営意識を持ち健全な経営の実現
・各領域における協力による組織力の強化

１．鷹岡病院

医療活動

⑴精神科救急の充実
・富士圏域の精神科救急基幹病院として責任を待った医療の維持・推進
・精神科救急急性期医療入院料算定基準のクロザリルの件数確保
・迅速な対応と積極的な受入れ
・富士圏域の救急医療センターとの連携

⑵自治体の指定等による拠点機能の確立
・認知症疾患医療センター事業の継続
・富士市認知症初期集中支援事業の継続
・静岡県認知症の人をみんなで支える地域づくり推進事業の継続
・富士圏域の認知症サポート医との連携の継続
・富士市災害時医療特殊病院
・DPAT

⑶病棟機能の再編並びに稼働率の確保
・病床利用適正化プロジェクトチーム及び制限緩和検討チームによる取り組みの継続
・精神科療養病棟入院料の施設基準の見直し検討
・圏内医療機関への入院患者紹介及びクロザリル適応患者紹介の依頼

⑷電子カルテの令和６年度導入
・機器の台数及び仕様確認並びに作業研修の実施

⑸訪問看護数増加対策
・医師、看護師、PSW 等の連携による退院前訪問看護の推進及び退院後の訪問看護の確実な実施
・外来患者・退院患者の訪問看護対象者の洗い出し
・多職種による訪問看護の実施の遂行

⑹行動制限最小化への取り組みの強化

⑺安全管理体制の強化
・医療事故の原因分析のレベルアップ
・再発防止策の有効性の確実な評価
⑻身体科救急対応医療機関との連携の強化
⑼多様化する精神疾患への対応の推進
・児童相談所等専門機関との連携
⑽うつ・自殺対策への取組みの推進
・富士市紹介システムの再周知及び推進
・富士圏域自殺未遂者支援ネットワークの構築
⑾虐待防止への取組推進
・内部通報制度の活用
・定期的な研修会の実施（院外研修会への参加・院内研修会の実施）

施設設備の整備計画
(1)電子カルテの導入
(2)Ａ病棟屋上防水工事
(3)B-3 病棟監視カメラレコーダー修理
(4)B-2 病棟パーテンション倉庫設置
(5)デイケア送迎車の更新
(6)非常放送機器更新工事
(7)栄養システムの更新
(8)Ｂ棟 4 階空調機交換工事
(9)LED 照明交換工事

地域貢献活動
(1)国・自治体・公的機関等への協力・援助
(2)研修医（初期、後期）の教育体制の充実と看護師、精神保健福祉士、作業療法士
公認心理師・臨床心理士教育への協力
(3)天間地区福祉推進事業への協力
(4)法人内社会復帰事業部への協力
(5)富士市医師会事業、職能団体事業への協力
(6)地域防災医療計画への協力

その他の活動
⑴コンプライアンス遵守の徹底と管理
⑵情報管理体制の強化
⑶業務体制見直しによる効率化
⑷災害対策
（BCP の推進、安否コール[災害安否確認システム]の活用）
⑸人材確保と活用・育成の体制構築

2. 富士メンタルクリニック

医療活動

(1)新患受け入れ体制の迅速化
(2)多職種間連携を強化し、更なる医療の質の向上を目指す
(3)訪問看護に関する内部研修の充実を図り、患者満足度の向上を目指す
(4)デイケアにおいては、季節を感じる所内行事を実施し、利用者の満足度の向上を目指す
(5)心理検査の拡充（診断補助システムの円滑化）

施設設備の整備計画

(1)シュレッダーの更新

その他の活動

(1)接遇・院内外との連携のさらなる充実とフィードバックの徹底
(2)IS09001（令和元年度に終了）でのノウハウを活用し効果的な運用を行う
(3)ホームページの充実
(4)他医療機関の連携と更なる充実
(5)電子カルテの導入

入院・外来取扱患者数

	入　院		外　来		デイケア		一般外来計	
	期中延	1日当	期中延	1日当	期中延	1日当	期中延	1日当
鷹　岡　病　院	44,530	122.0	22,920	78.2	6,344	26.1	29,264	99.9
富士メンタルクリニック			12，892	44.0	2,892	11.9	15，784	53.9

	訪問看護		作業療法	
	期中延	1日当	期中延	1日当
鷹　岡　病　院	1,155	4.8	10,380	35.4
富士メンタルクリニック	84	0.3		

沼津リハビリテーション病院グループ

運営方針

静岡県東部医療圏域において、脳卒中等の神経疾患・整形外科疾患の回復期リハビリテーション医療及び神経難病などの対応困難例に対するリハビリテーションと医療ケアを基軸とした医療サービスにより、急性期医療を引き継ぐ役割を担い、常に求められる医療機関となることを目指す。

回復期リハビリテーション病棟では、脳卒中を中心とする神経疾患、大腿骨近位部骨折を中心とする外傷を主たる対象としつつ、幅広い疾患や合併症に対応する。高齢者、認知症であってもリハビリテーションの介入の可能な症例には対応するよう努め、急性期病院の後方支援病院として多様な役割を担う。

医療療養病棟では、厚生労働省指定難病である神経疾患を中心として合併症に対応しつつ、在宅ケア例に対するリハビリテーション介入を伴う支援を行う。さらに急性期病院に合併症等で入院した難病例を積極的に受入れ、後方支援の役割を担う。一部難病以外の地域在宅困難例、急性期病院での治療後のリハビリテーション（回復期非適応例）にも対応する。リハビリテーション終了後は積極的に在宅ケア等への移行支援を行う。

地域でのこれらの役割を全うするために必要な人員の確保、設備の充実、技術の向上、経営基盤の安定を目指す。

重点目標

（1） 病院全体で最低88.2%以上の病床稼働率維持による経営の安定
（2） リハビリテーションの実績指数及び在宅復帰率の向上
（3） 訪問看護の充実
（4） 感染対策の徹底
（5） 病院運営に必要な職員の確保及び人材の育成
（6） 医療水準向上のための学会・研修会などへの積極的参加
（7） 診療報酬改定及び各種制度改正への対応
（8） 各種システムの更新及びDXの推進

１．沼津リハビリテーション病院

医療活動

（1） 回復期リハビリテーション病棟の機能維持・向上
- ① 病床稼働率91.7%を確保する
- ② リハビリテーション達成機能としてのFIM（functional independence measure）のさらなる改善
- ③ 自宅復帰率のさらなる改善とそのための支援の充実
- ④ 対象患者の高齢化に伴う初期ではない認知症患者に対する対応力の向上
- ⑤ 急性期病院との円滑な連携の強化、受け入れまでの期間短縮、それに伴う医療リスクの管理強化
- ⑥ 福祉施設・行政機関・サードライン病院との連携強化

（2） 医療療養病棟の機能改善
- ① 長期療養を主目的としない合併症の管理・リハビリテーションの提供を中心とした在宅医療支援機能の強化
- ② 在宅・他院からの積極的な入院受け入れによる入院期間の適正化および退院支援の強化
- ③ 医療区分２・３患者層の受け入れ割合の維持
- ④ 医療レベルの改善・機器設備の拡充
- ⑤ 急性期病院との連携強化、回復期リハ非適応対象の受け入れ推進

施設設備の整備計画
（１） 院内ネットワーク環境の整備及び各種システムの更新
（２） 機械浴槽の設備更新
（３） 免荷歩行訓練機器の導入
（４） 空調設備の更新
（５） 建物の補修・改修工事
（６） 中庭含む外構の整備

地域貢献活動
（１） 月１回の沼津医師会からの一次救急輪番対応への協力
（２） 専門学校等の臨床実習の受け入れ継続
（３） リハビリテーション・看護における研究会・レクチャーの院内開催の継続（院外参加者のさらなる受け入れ）
（４） 新興感染症対策（ワクチン接種）及び VRE（バンコマイシン耐性腸球菌）研究への協力
（５） 沼津市短期集中予防サービスの提供を検討

その他の活動
（１） 必要な人材確保と人材育成
（２） 医師を含む働き方改革への対応
（３） 職員健康管理体制の整備
（４） 院内情報等における DX (Digital Transformation) の推進
（５） あらゆる災害を前提とした対策の推進
（６） QC 活動の推進と発表会へ積極的参加

２．訪問看護ステーションうしぶせ

医療活動
（１） 地域医療機関との幅広い連携による在宅医療の積極的推進
（２） 疾患・年齢を問わない種々の重複障害患者への積極的対応
（３） 24 時間対応の維持と対象患者数の増加

地域貢献活動
（１） 看護学校等の積極的実習受け入れ
（２） 地域のニーズに応えるための時間外対応の強化

入院・外来・通所リハビリテーション及び訪問看護取扱患者数 定床：106 床）

	入院		外来		通所リハビリ		訪問リハビリ		訪問看護	
	期中延	１日当	期中延	１日当	期中延	１日当	期中延	１月当	期中延	１日当
沼津リハビリテーション病院	34,128	93.5	7,502	31.0	4,928	16.0	84	7.0		
訪問看護ステーションうしぶせ									5,598	18.0

本部・社会復帰事業部グループ

１． 本部

運営方針

組織力を強化し、経営の健全性を維持し、収益性を向上させる体制に変革していく。

重点目標

① ガバナンス強化
- 経営計画、事業計画に対する検証強化
- 予算実績進捗管理の深化→職員への情報発信
- 沼津リハビリテーション病院への支援

② システム化推進
- 医療ＤＸの推進（勤怠管理システムの導入）
- キャッシュレス化の推進
- 情報管理体制の強化

③ 適正な人事・労務管理
- 人的資本経営に向けた人事制度の検討
- 適正な労務管理（出退勤打刻、時間単位の有給等）の浸透
- 公益通報制度の充実（お悩み相談ホットラインの実効性確保）

④ 収益力の強化
- 共同購入・外部委託等の経費削減策の策定
- 新規事業の検討
- 資産活用策の検討

２．社会復帰事業部

運営方針（事業部）

誰もが自分らしく暮らす事の出来る地域共生社会の実現を目指す。
そのために障害者、特に精神障害について専門的見地からのかかわりを通して人・資源・地域を繋ぎ、障害者に寄り添う包括的な支援を行います。
また、地域や障害者の状況に合わせた事業運営と、先を見据えた事業展開を全職員とともにデザインする事で、チーム意識ややりがいが持てるような、組織の強化に取り組みます。

重点目標

① 障害者の人権を守るために何が出来るかを常に考えた支援を行う
② ピアスタッフの価値が発揮できる環境の整備
③ 災害感染対策の見直しと地域との協働
④ 人材育成や人材確保の体制整備

（1）相談支援・地域活動支援センター事業

① 目の前の個別クライエントの関わりから個別の課題だけでなく地域の課題に対する意識を持ち、希望する生活を支援するために制度の理解を深め、社会資源を活用・コーディネートに取り組む

② ピアスタッフ・ピアサポーターとの協働、啓発活動を通して権利擁護の観点を意識し、各市町の実情を把握しながら各々の特徴に合わせた精神障害者にも対応した包括ケアシステムを意識した地域作りに積極的に参画していく

③ 災害時や日常生活内での緊急時に備え、地域生活支援拠点事業の活用など地域の実情に合わせた緊急時の支援体制を整備し、法人内においても相談支援事業所間の情報共有・連携を図りながら柔軟に対応できる相談支援体制の構築を目指すとともに、個々の相談支援専門員のスキルアップを図るなど人材育成の視点を持つ

④　地域活動支援センターにおいては、地域の状況や特徴、利用者のニーズ等踏まえ事業を展開し、障害者に限らず地域住民に地域活動支援センターの機能や役割の周知、啓発を意識する。また、憩いの場の活動内容の工夫、仲間づくりとしての機能が果たせるようピア（当事者）が主体となり活動をサポートするよう努める

（２）グループホーム（共同生活援助事業）
①　生活をする場として、安心でき、居心地の良い場所を提供できるように努めていく。
②　利用者それぞれの状況を見ながら、個人にあった支援ができるように職員間できちんと情報共有をし、支援方針を話し合い、より良い支援ができるようにスキルアップを目指していく。また、将来的な希望などを本人と共有し、実現に向けて支援を行うことができるようにする
③　地域でのお祭りや清掃活動、防災訓練などに参加し、地域に積極的に出る機会を持ち、地域住民としての役割を果たせるようにする

（３）就労支援事業（B 型）
①　利用者が安心安定して利用継続できるよう、ピアスタッフや関係機関との連携を図りつつ、個別の特性に応じた支援体制を築く
②　職員は研修参加や事業所内での勉強会を通じて自己研鑽に励み、障害特性や就労支援の理解を深めるとともに、ハラスメント及び虐待の防止に努める
③　市の社会福祉大会など地域活動に積極的に参画し、自主製品の売り上げ及び工賃向上に努めるとともに、障害者福祉に関する普及啓発に取り組む
④　感染及び防災対策を見直し、事業継続可能な体制を構築するとともに、利用者・職員が安心して過ごせる職場環境を整備する

施設の整備計画
①　はまゆう寮・サポートセンターなかせ、サポートセンターひまりの移転検討
②　老朽化した施設、設備の修繕を適宜行う

地域貢献活動
（１）精神保健福祉分野における公的機関への協力
・大学及び専門学校、各種研修会への講師派遣による人材育成の協力
・各地域の自立支援協議会では協議委員や部会員として協力し、障害者支援の中核的な役割を担う
・圏域スーパーバイザー事業受託
・行政、関係団体からの委員活動等、要請があれば検討し、協力してゆく
（２）地域に必要な事業の検討
・ピアサポート連絡会（当事者グループ）活動支援

社会復帰事業部各施設

種　別	施設名		定　員	1日当
サポートセンター	ゆめワーク	相談	――――	5件
		活動	――――	4.9名
		計画作成	――――	29.8件／月
	なかせ	相談	――――	28件
		計画作成	――――	44.1件／月
	りりぶ	相談	――――	15件
		活動	――――	6.1名
		計画作成	――――	31.6件／月
	ほっと	相談	――――	20件
		計画作成	――――	32.3件／月
	ひまり	相談	――――	15件
		計画作成	――――	36.8件／月
グループホーム	はまゆう寮		9名	8.5名
	カーサ岡の宮		10名	6.9名
	ふじみ		10名	7.4名
	コーポ狩野		18名	16.9名
就労継続支援B型	かのん		20名	20.0名
	ワークショップまごころ		20名	16.3名
	田方・ゆめワーク		20名	14.0名

以上

公益財団法人　復康会
令和6年度　収支予算書

（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

（正味財産増減計算書）

（単位：千円）

科　目　名	予算額	前年度予算	差引増減額	摘要（積算内訳）
Ⅰ　一般正味財産増減の部				
1．経常増減の部				
(1)　経常収益				
基本財産運用益	0	0	0	
基本財産受取利息	0	0	0	
特定資産運用益	15,246	14,147	1,099	
特定資産受取利息	15,246	14,147	1,099	
事業収益	5,346,293	5,259,523	86,770	
医業収入	5,008,937	4,949,572	59,365	
入院収入	3,963,175	3,897,829	65,346	
外来収入	881,535	890,920	▲ 9,385	
介護サービス事業収入	81,525	77,715	3,810	
室料収入	40,339	40,880	▲ 541	
保険調整増減	0	▲ 344	344	
医療受託事業収入	42,363	42,572	▲ 209	
自立支援費等収入	337,356	309,951	27,405	
訓練等給付費収入	197,987	177,697	20,290	
地域相談支援給付費収入	907	1,540	▲ 633	
計画相談支援給付費収入	39,820	35,366	4,454	
福祉受託事業収入	98,642	95,348	3,294	
受取補助金等	38,554	40,863	▲ 2,309	
補助金収入(県市町)	8,836	8,865	▲ 29	
助成金収入(国庫)	0	242	▲ 242	
助成金収入(県市町)	0	2,135	▲ 2,135	
受取補助金等振替額	29,718	29,621	97	
受取寄附金	2,869	3,069	▲ 200	
寄付金収入	0	200	▲ 200	
受取寄付金振替額	2,869	2,869	0	
雑収益	114,799	110,967	3,832	
受取洗濯料	9,072	8,966	106	
患者外給食収入	13,030	12,766	264	
就労支援事業収入	27,982	25,723	2,259	
家賃収入	15,420	15,420	0	
受取利息配当金	2,369	2,369	0	
雑収入	46,926	45,723	1,203	
経常収益計	5,517,761	5,428,569	89,192	
(2)　経常費用				
事業費	5,549,804	5,441,479	108,325	
(材料費)	439,555	426,756	12,799	
薬品費	248,443	230,313	18,130	
医療消耗備品費	2,382	2,377	5	
診療材料費	59,824	69,037	▲ 9,213	
給食材料費	128,906	125,029	3,877	
(給与費)	4,111,862	4,012,480	99,382	
給料	2,832,405	2,762,404	70,001	
賞与	642,259	630,106	12,153	
退職給付費用	117,329	118,867	▲ 1,538	
法定福利費	517,949	498,258	19,691	
奨学金	1,920	2,845	▲ 925	
(一般経費)	976,026	980,985	▲ 4,959	
福利厚生費	38,786	36,225	2,561	
旅費交通費	11,415	11,000	415	
通信費	12,586	13,274	▲ 688	
消耗品費	37,046	33,240	3,806	
消耗備品費	7,122	6,115	1,007	
会議費	3,072	2,077	995	
光熱水費	134,211	156,469	▲ 22,258	
修理費	33,034	30,200	2,834	
賃借料	38,068	36,926	1,142	
リース料	31,342	28,970	2,372	
検査委託費	11,444	12,033	▲ 589	
寝具委託費	27,797	27,211	586	
損害保険料	12,526	11,156	1,370	
交際費	991	924	67	
諸会費	4,238	4,250	▲ 12	
租税公課	77,252	75,383	1,869	
広告費	3,039	3,013	26	
減価償却費	267,931	285,042	▲ 17,111	
図書費	5,077	5,272	▲ 195	
研究費	0	190	▲ 190	
保守管理費	100,279	102,039	▲ 1,760	
車両経費	7,429	6,596	833	
コンピュータ費	24,180	20,347	3,833	
業務委託費	78,434	61,109	17,325	
交流費	320	231	89	
雑費	8,407	11,693	▲ 3,286	
(その他経費)	22,361	21,258	1,103	

科　目　名	予算額	前年度予算	差引増減額	摘要（積算内訳）
支払利息	125	125	0	
就労支援事業材料費	10,143	9,805	338	
就労利用者配分金	11,382	10,587	795	
寄附金	711	741	▲ 30	
管理費	44,223	44,844	▲ 621	
（給与費）	11,860	12,509	▲ 649	
給料(管)	5,223	6,000	▲ 777	
賞与(管)	1,364	1,120	244	
役員報酬(管)	4,258	4,258	0	
法定福利費(管)	1,015	1,131	▲ 116	
（一般経費）	20,900	21,199	▲ 299	
福利厚生費(管)	40	22	18	
旅費交通費(管)	30	30	0	
通信費(管)	98	57	41	
消耗品費(管)	162	232	▲ 70	
消耗備品費(管)	13	330	▲ 317	
会議費(管)	354	105	249	
光熱水費(管)	83	94	▲ 11	
修理費(管)	6	50	▲ 44	
賃借料(管)	10,728	12,188	▲ 1,460	
リース料(管)	72	58	14	
損害保険料(管)	162	173	▲ 11	
交際費(管)	295	328	▲ 33	
諸会費(管)	112	142	▲ 30	
租税公課(管)	1,425	1,438	▲ 13	
広告費(管)	20	20	0	
減価償却費(管)	2,995	2,257	738	
図書費(管)	7	6	1	
保守管理費(管)	1,092	1,292	▲ 200	
車両経費(管)	141	176	▲ 35	
コンピュータ費(管)	1,362	498	864	
業務委託費(管)	1,672	1,672	0	
雑費(管)	31	31	0	
（その他経費）	11,463	11,136	327	
患者外給食材料費(管)	10,760	10,433	327	
寄附金(管)	103	103	0	
医業外雑費(管)	600	600	0	
経常費用計	5,594,027	5,486,323	107,704	
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 76,266	▲ 57,754	▲ 18,512	
当期経常増減額	▲ 76,266	▲ 57,754	▲ 18,512	
２．経常外増減の部				
(1)　経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2)　経常外費用				
前期損益修正損	2,730	0	2,730	
前期損益修正損	2,730	0	2,730	
経常外費用計	2,730	0	2,730	
当期経常外増減額	▲ 2,730	0	▲ 2,730	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	▲ 78,996	▲ 57,754	▲ 21,242	
他会計振替額の部	0	0	0	
他会計振替額①(支)	0	0	0	
他会計振替額②(支)	0	0	0	
他会計振替額③(支)	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	▲ 78,996	▲ 57,754	▲ 21,242	
法人税、住民税及び事業税	3,378	3,360	18	
当期一般正味財産増減額	▲ 82,374	▲ 61,114	▲ 21,260	
一般正味財産期首残高	9,442,749	9,503,863	▲ 61,114	
一般正味財産期末残高	9,360,375	9,442,749	▲ 82,374	
Ⅱ　指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	32,645	32,548	97	
一般正味財産への振替額	32,645	32,548	97	
当期指定正味財産増減額	▲ 32,645	▲ 32,548	▲ 97	
指定正味財産期首残高	567,406	599,954	▲ 32,548	
指定正味財産期末残高	534,761	567,406	▲ 32,645	
Ⅲ　正味財産期末残高	9,895,136	10,010,155	▲ 115,019	

公益財団法人　復康会
令和6年度　収支予算内訳書

（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

（正味財産増減計算書）

（単位：千円）

勘定科目	公益事業		収益事業及びその他事業						法人会計	内部取引控除	内部取引控除後合計
	公益事業	小計①	収益事業１	収益事業２	収益事業３	収益共通	その他事業	小計②			
			差額室料	受取洗濯料等	不動産賃貸		福利厚生				
Ⅰ　一般正味財産増減の部											
１．経常増減の部											
(1)　経常収益											
特定資産運用益	15,246	15,246	0	0	0	0	0	0	0	0	15,246
特定資産受取利息	15,246	15,246	0	0	0	0	0	0	0	0	15,246
事業収益	5,289,266	5,289,266	40,339	16,688	0	0	0	57,027	0	0	5,346,293
医業収入	4,951,910	4,951,910	40,339	16,688	0	0	0	57,027	0	0	5,008,937
入院収入	3,946,487	3,946,487	0	16,688	0	0	0	16,688	0	0	3,963,175
外来収入	881,535	881,535	0	0	0	0	0	0	0	0	881,535
介護サービス事業収入	81,525	81,525	0	0	0	0	0	0	0	0	81,525
室料収入	0	0	40,339	0	0	0	0	40,339	0	0	40,339
医療受託事業収入	42,363	42,363	0	0	0	0	0	0	0	0	42,363
自立支援費等収入	337,356	337,356	0	0	0	0	0	0	0	0	337,356
訓練等給付費収入	197,987	197,987	0	0	0	0	0	0	0	0	197,987
地域相談支援給付費収入	907	907	0	0	0	0	0	0	0	0	907
計画相談支援給付費収入	39,820	39,820	0	0	0	0	0	0	0	0	39,820
福祉受託事業収入	98,642	98,642	0	0	0	0	0	0	0	0	98,642
受取補助金等	38,432	38,432	0	64	58	0	0	122	0	0	38,554
補助金収入(県市町)	8,836	8,836	0	0	0	0	0	0	0	0	8,836
受取補助金等振替額	29,596	29,596	0	64	58	0	0	122	0	0	29,718
受取寄附金	2,869	2,869	0	0	0	0	0	0	0	0	2,869
受取寄付金振替額	2,869	2,869	0	0	0	0	0	0	0	0	2,869
雑収益	146,316	146,316	0	21,447	20,280	0	0	41,727	13,030	▲ 86,274	114,799
受取洗濯料	0	0	0	9,072	0	0	0	9,072	0	0	9,072
患者外給食収入	0	0	0	0	0	0	0	0	13,030	0	13,030
就労支援事業収入	27,982	27,982	0	0	0	0	0	0	0	0	27,982
家賃収入	0	0	0	0	15,420	0	0	15,420	0	0	15,420
受取利息配当金	2,369	2,369	0	0	0	0	0	0	0	0	2,369
雑収入	29,691	29,691	0	12,375	4,860	0	0	17,235	0	0	46,926
本部経費負担金収入	86,274	86,274	0	0	0	0	0	0	0	▲ 86,274	0
経常収益計	5,492,129	5,492,129	40,339	38,199	20,338	0	0	98,876	13,030	▲ 86,274	5,517,761
(2)　経常費用											
事業費	5,601,928	5,601,928	0	17,816	12,963	3,216	155	34,150	0	▲ 86,274	5,549,804
(材料費)	439,555	439,555	0	0	0	0	0	0	0	0	439,555
薬品費	248,443	248,443	0	0	0	0	0	0	0	0	248,443
医療消耗備品費	2,382	2,382	0	0	0	0	0	0	0	0	2,382
診療材料費	59,824	59,824	0	0	0	0	0	0	0	0	59,824
給食材料費	128,906	128,906	0	0	0	0	0	0	0	0	128,906
(給与費)	4,098,461	4,098,461	0	8,609	4,792	0	0	13,401	0	0	4,111,862
給料	2,823,319	2,823,319	0	5,838	3,248	0	0	9,086	0	0	2,832,405
賞与	639,664	639,664	0	1,669	926	0	0	2,595	0	0	642,259
退職給付費用	117,329	117,329	0	0	0	0	0	0	0	0	117,329
法定福利費	516,229	516,229	0	1,102	618	0	0	1,720	0	0	517,949
奨学金	1,920	1,920	0	0	0	0	0	0	0	0	1,920
(一般経費)	955,277	955,277	0	9,207	8,171	3,216	155	20,749	0	0	976,026
福利厚生費	38,650	38,650	0	36	0	0	100	136	0	0	38,786

勘定科目	公益事業		収益事業及びその他事業						法人会計	内部取引控除	内部取引控除後合計
	公益事業	小計①	収益事業１	収益事業２	収益事業３	収益共通	その他事業	小計②			
			差額室料	受取洗濯料等	不動産賃貸		福利厚生				
旅費交通費	11,415	11,415	0	0	0	0	0	0	0	0	11,415
通信費	12,568	12,568	0	0	18	0	0	18	0	0	12,586
消耗品費	36,745	36,745	0	281	20	0	0	301	0	0	37,046
消耗備品費	6,922	6,922	0	0	200	0	0	200	0	0	7,122
会議費	3,072	3,072	0	0	0	0	0	0	0	0	3,072
光熱水費	133,739	133,739	0	222	250	0	0	472	0	0	134,211
修理費	32,734	32,734	0	0	300	0	0	300	0	0	33,034
賃借料	37,624	37,624	0	0	444	0	0	444	0	0	38,068
リース料	30,211	30,211	0	1,131	0	0	0	1,131	0	0	31,342
検査委託費	11,444	11,444	0	0	0	0	0	0	0	0	11,444
寝具委託費	27,797	27,797	0	0	0	0	0	0	0	0	27,797
損害保険料	12,472	12,472	0	0	54	0	0	54	0	0	12,526
交際費	991	991	0	0	0	0	0	0	0	0	991
諸会費	4,178	4,178	0	0	60	0	0	60	0	0	4,238
租税公課	70,893	70,893	0	120	3,014	3,216	9	6,359	0	0	77,252
広告費	3,039	3,039	0	0	0	0	0	0	0	0	3,039
減価償却費	264,682	264,682	0	298	2,905	0	46	3,249	0	0	267,931
図書費	5,077	5,077	0	0	0	0	0	0	0	0	5,077
保守管理費	99,343	99,343	0	33	903	0	0	936	0	0	100,279
車両経費	7,429	7,429	0	0	0	0	0	0	0	0	7,429
コンピュータ費	24,150	24,150	0	30	0	0	0	30	0	0	24,180
業務委託費	71,378	71,378	0	7,056	0	0	0	7,056	0	0	78,434
交流費	320	320	0	0	0	0	0	0	0	0	320
雑費	8,404	8,404	0	0	3	0	0	3	0	0	8,407
(その他経費)	108,635	108,635	0	0	0	0	0	0	0	▲ 86,274	22,361
支払利息	125	125	0	0	0	0	0	0	0	0	125
就労支援事業材料費	10,143	10,143	0	0	0	0	0	0	0	0	10,143
就労利用者配分金	11,382	11,382	0	0	0	0	0	0	0	0	11,382
寄附金	711	711	0	0	0	0	0	0	0	0	711
本部経費負担金支出	86,274	86,274	0	0	0	0	0	0	0	▲ 86,274	0
管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	44,223	0	44,223
(給与費)	0	0	0	0	0	0	0	0	11,860	0	11,860
給料(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	5,223	0	5,223
賞与(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	1,364	0	1,364
役員報酬(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	4,258	0	4,258
法定福利費(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	1,015	0	1,015
(一般経費)	0	0	0	0	0	0	0	0	20,900	0	20,900
福利厚生費(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	40	0	40
旅費交通費(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	30
通信費(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	98	0	98
消耗品費(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	162	0	162
消耗備品費(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	13
会議費(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	354	0	354
光熱水費(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	83	0	83
修理費(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	6
賃借料(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	10,728	0	10,728
リース料(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	72	0	72
損害保険料(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	162	0	162
交際費(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	295	0	295
諸会費(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	112	0	112
租税公課(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	1,425	0	1,425
広告費(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	20

勘定科目	公益事業		収益事業及びその他事業						法人会計	内部取引控除	内部取引控除後合計
	公益事業	小計①	収益事業１	収益事業２	収益事業３	収益共通	その他事業	小計②			
			差額室料	受取洗濯料等	不動産賃貸		福利厚生				
減価償却費(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	2,995	0	2,995
図書費(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	7
保守管理費(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	1,092	0	1,092
車両経費(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	141	0	141
コンピュータ費(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	1,362	0	1,362
業務委託費(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	1,672	0	1,672
雑費(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	31
(その他経費)	0	0	0	0	0	0	0	0	11,463	0	11,463
患者外給食材料費(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	10,760	0	10,760
寄附金(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	103	0	103
医業外雑費(管)	0	0	0	0	0	0	0	0	600	0	600
経常費用計	5,601,928	5,601,928	0	17,816	12,963	3,216	155	34,150	44,223	▲ 86,274	5,594,027
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 109,799	▲ 109,799	40,339	20,383	7,375	▲ 3,216	▲ 155	64,726	▲ 31,193	0	▲ 76,266
当期経常増減額	▲ 109,799	▲ 109,799	40,339	20,383	7,375	▲ 3,216	▲ 155	64,726	▲ 31,193	0	▲ 76,266
２．経常外増減の部											
(1)　経常外収益											
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)　経常外費用											
前期損益修正損	2,730	2,730	0	0	0	0	0	0	0	0	2,730
前期損益修正損	2,730	2,730	0	0	0	0	0	0	0	0	2,730
経常外費用計	2,730	2,730	0	0	0	0	0	0	0	0	2,730
当期経常外増減額	▲ 2,730	▲ 2,730	0	0	0	0	0	0	0	0	▲ 2,730
他会計振替前当期一般正味財産増減額	▲ 112,529	▲ 112,529	40,339	20,383	7,375	▲ 3,216	▲ 155	64,726	▲ 31,193	0	▲ 78,996
他会計振替額の部	32,441	32,441	▲ 20,170	0	0	▲ 41,333	155	▲ 61,348	28,907	0	0
他会計振替額①(支)	▲ 32,441	▲ 32,441	20,170	0	0	12,271	0	32,441	0	0	0
他会計振替額②(支)	0	0	0	0	0	155	▲ 155	0	0	0	0
他会計振替額③(支)	0	0	0	0	0	28,907	0	28,907	▲ 28,907	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	▲ 80,088	▲ 80,088	20,169	20,383	7,375	▲ 44,549	0	3,378	▲ 2,286	0	▲ 78,996
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	3,378	0	3,378	0	0	3,378
当期一般正味財産増減額	▲ 80,088	▲ 80,088	20,169	20,383	7,375	▲ 47,927	0	0	▲ 2,286	0	▲ 82,374
一般正味財産期首残高	8,756,652	8,756,652	301,312	231,952	242,848	▲ 637,056	3,157	142,213	543,884	0	9,442,749
一般正味財産期末残高	8,676,564	8,676,564	321,481	252,335	250,223	▲ 684,983	3,157	142,213	541,598		9,360,375
Ⅱ　指定正味財産増減の部											
一般正味財産への振替額	32,523	32,523	0	64	58	0	0	122	0	0	32,645
一般正味財産への振替額	32,523	32,523	0	64	58	0	0	122	0	0	32,645
当期指定正味財産増減額	▲ 32,523	▲ 32,523	0	▲ 64	▲ 58	0	0	▲ 122	0	0	▲ 32,645
指定正味財産期首残高	564,919	564,919	0	1,297	1,190	0	0	2,487	0	0	567,406
指定正味財産期末残高	532,396	532,396	0	1,233	1,132	0	0	2,365	0	0	534,761
Ⅲ　正味財産期末残高	9,208,960	9,208,960	321,481	253,568	251,355	▲ 684,983	3,157	144,578	541,598	0	9,895,136

令和6年度　収支予算書

法人名	公益財団法人復康会
事業・会計	総括（会計区分）

<収支計算書>

（単位：千円）

科　　　　　目	予　算　額	前年度予算額（補正後）	差　引 増減額	摘　要（積算内訳）
Ⅰ 事業活動収支の部				
1．事業活動収入				
1138 特定資産運用収入	15,246	14,147	1,099	
8502 特定資産利息収入	15,246	14,147	1,099	
1140 事業収入	5,346,293	5,259,523	86,770	
1141 医業収入	5,008,937	4,949,572	59,365	
8503 入院収入	3,963,175	3,897,829	65,346	
8504 外来収入	881,535	890,920	△9,385	
8505 介護サービス事業収入	81,525	77,715	3,810	
8506 室料収入	40,339	40,880	△541	
8508 保険調整増減	0	△344	344	
8530 医療受託事業収入	42,363	42,572	△209	
1143 自立支援費等収入	337,356	309,951	27,405	
8510 訓練等給付費収入	197,987	177,697	20,290	
7117 地域相談支援給付費収入	907	1,540	△633	
7116 計画相談支援給付費収入	39,820	35,366	4,454	
8512 福祉受託事業収入	98,642	95,348	3,294	
1148 補助金等収入	8,836	11,442	△2,606	
8514 補助金収入（県市町）	8,836	8,865	△29	
8516 助成金収入（国庫）	0	242	△242	
8517 助成金収入（県市町）	0	2,135	△2,135	
8520 寄付金収入	0	200	△200	
1146 事業外収入	201,073	192,229	8,844	
8522 受取洗濯料	9,072	8,966	106	
8523 患者外給食収入	13,030	12,766	264	
8524 就労支援事業収入	27,982	25,723	2,259	
8525 家賃収入	15,420	15,420	0	
8526 受取利息配当金	2,369	2,369	0	
8527 雑収入	46,926	45,723	1,203	
8528 本部経費負担金収入	86,274	81,262	5,012	
1151 事業活動収入計	5,571,448	5,477,341	94,107	
2．事業活動支出				
1153 事業費支出	5,371,525	5,242,962	128,563	
1154（材料費）	439,555	426,756	12,799	
9601 医薬品購入支出	248,443	230,313	18,130	
9602 医療消耗備品費	2,382	2,377	5	
9603 診療材料購入支出	59,824	69,037	△9,213	
9604 給食材料購入支出	128,906	125,029	3,877	
1156（給与費）	4,111,862	4,012,480	99,382	
9605 給料	2,832,405	2,762,404	70,001	
9606 賞与	642,259	630,106	12,153	
9609 退職給付費用	117,329	118,867	△1,538	
9610 法定福利費	517,949	498,258	19,691	
9611 奨学金	1,920	2,845	△925	
1158（一般経費）	711,473	701,206	10,267	
9612 福利厚生費	38,786	36,225	2,561	

法人名	公益財団法人復康会
事業・会計	総括（会計区分）

〈収支計算書〉

（単位：千円）

科目	予算額	前年度予算額（補正後）	差引増減額	摘要（積算内訳）
9614 旅費交通費	11,415	11,000	415	
9615 通信費	12,586	13,274	△688	
9616 消耗品費	37,046	33,240	3,806	
9617 消耗備品費	7,122	6,115	1,007	
9618 会議費	3,072	2,077	995	
9619 光熱水費	134,211	156,469	△22,258	
9620 修理費	33,034	32,103	931	
9621 賃借料	38,068	36,926	1,142	
9654 リース料	31,342	28,970	2,372	
9622 検査委託費	11,444	12,033	△589	
9623 寝具委託費	27,797	27,211	586	
9624 損害保険料	12,526	11,156	1,370	
9625 交際費	991	924	67	
9626 諸会費	4,238	4,250	△12	
9627 租税公課	80,630	78,743	1,887	
9628 広告費	3,039	3,013	26	
9630 図書費	5,077	5,272	△195	
9631 研究費	0	190	△190	
9632 保守管理費	100,279	102,039	△1,760	
9633 車両経費	7,429	6,596	833	
9634 コンピュータ費	24,180	20,347	3,833	
9635 業務委託費	78,434	61,109	17,325	
9652 交流費	320	231	89	
9636 雑費	8,407	11,693	△3,286	
1160（その他経費）	108,635	102,520	6,115	
9637 支払利息	125	125	0	
9639 就労支援事業材料費	10,143	9,805	338	
9640 就労利用者配分金	11,382	10,587	795	
9642 寄附金支出	711	741	△30	
9647 本部経費負担金支出	86,274	81,262	5,012	
1163 管理費支出	41,228	42,587	△1,359	
1164（給与費）	11,860	12,509	△649	
9705 給料（管）	5,223	6,000	△777	
9706 賞与（管）	1,364	1,120	244	
9708 役員報酬（管）	4,258	4,258	0	
9710 法定福利費（管）	1,015	1,131	△116	
1166（一般経費）	17,905	18,942	△1,037	
9712 福利厚生費（管）	40	22	18	
9714 旅費交通費（管）	30	30	0	
9715 通信費（管）	98	57	41	
9716 消耗品費（管）	162	232	△70	
9717 消耗備品費（管）	13	330	△317	
9718 会議費（管）	354	105	249	
9719 光熱水費（管）	83	94	△11	
9720 修理費（管）	6	50	△44	
9721 賃借料（管）	10,728	12,188	△1,460	

法人名	公益財団法人復康会
事業・会計	総括（会計区分）

〈収支計算書〉

（単位：千円）

科目	予算額	前年度予算額（補正後）	差引増減額	摘要（積算内訳）
9754 リース料（管）	72	58	14	
9724 損害保険料（管）	162	173	△11	
9725 交際費（管）	295	328	△33	
9726 諸会費（管）	112	142	△30	
9727 租税公課（管）	1,425	1,438	△13	
9728 広告費（管）	20	20	0	
9730 図書費（管）	7	6	1	
9732 保守管理費（管）	1,092	1,292	△200	
9733 車両経費（管）	141	176	△35	
9734 コンピュータ費（管）	1,362	498	864	
9735 業務委託費（管）	1,672	1,672	0	
9736 雑費（管）	31	31	0	
1168（その他経費）	11,463	11,136	327	
9738 患者外給食材料費（管）	10,760	10,433	327	
9742 寄附金支出（管）	103	103	0	
9746 医業外雑費（管）	600	600	0	
1171 事業活動支出計	5,412,753	5,285,549	127,204	
1173 事業活動収支差額	158,695	191,792	△33,097	
Ⅱ 投資活動収支の部				
1．投資活動収入				
1178 敷金保証金戻り収入	580	0	580	
8217 敷金保証金戻り収入	580	0	580	
1181 投資活動収入計	580	0	580	
2．投資活動支出				
1184 固定資産取得支出	506,556	191,738	314,818	
9207 建物購入支出	26,051	20,000	6,051	
9208 建物付属設備購入支出	141,928	58,968	82,960	
9209 構築物購入支出	20,768	22,000	△1,232	
9210 医療機械購入支出	35,538	29,198	6,340	
9211 機械装置購入支出	25,124	3,889	21,235	
9212 什器備品購入支出	241,373	29,010	212,363	
9221 ソフトウェア購入支出	15,774	28,673	△12,899	
1186 敷金・保証金支出	580	300	280	
9217 敷金・保証金支出	580	300	280	
1188 投資活動支出計	507,136	192,038	315,098	
1189 投資活動収支差額	△506,556	△192,038	△314,518	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1．財務活動収入				
1194 引当金戻り収入	122,826	124,366	△1,540	
8402 退職給付引当金繰入収入	122,826	124,366	△1,540	
1191 長期貸付金戻り収入	2,170	2,845	△675	
8218 長期貸付金戻り収入	2,170	2,845	△675	
1193 特定資産取崩収入	145,991	145,991	0	
8203 退職給付引当資産取崩収入	145,991	145,991	0	
1195 財務活動収入計	270,987	273,202	△2,215	
2．財務活動支出				

法人名	公益財団法人復康会
事業・会計	総括（会計区分）

〈収支計算書〉

（単位：千円）

科　　目	予　算　額	前年度予算額（補正後）	差　引 増減額	摘　要（積　算　内　訳）
1198 引当金取崩支出	145,991	145,991	0	
9402 退職給付引当金取崩支出	145,991	145,991	0	
1199 長期貸付金支出	2,920	1,080	1,840	
9218 長期貸付金支出	2,920	1,080	1,840	
1201 特定資産取得支出	122,826	124,366	△1,540	
9203 退職給付引当資産取得支出	122,826	124,366	△1,540	
1230 特別支出	2,730	0	2,730	
9222 前期損益修正損	2,730	0	2,730	
1203 財務活動支出計	274,467	271,437	3,030	
1204 財務活動収支差額	△3,480	1,765	△5,245	
Ⅳ 予備費支出	20,000	20,000	0	
当期収支差額	△371,341	△18,481	△352,860	
前期繰越収支差額	2,994,865	3,013,346	△18,481	
次期繰越収支差額	2,623,524	2,994,865	△371,341	

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1)資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入先等を記載してください。

借入れの予定	なし

事業 区分	事業 番号	借入先	金額	使途
			円	

(2)設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資(除却又は売却を含む。)の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容等を記載してください。

設備投資の予定	あり

事業 区分	事業 番号	設備投資の内容	支出又は収入の予定額	資金調達方法又は取得資金の使途
公	1	本館4階屋上防水更新工事	3,000,000 円	当期収益より調達
公	2	本館5階食堂庇防水更新工事	4,000,000 円	当期収益より調達
公	3	本館5階屋上押さえコン補修防水更新工事	2,398,000 円	当期収益より調達
公	4	2階病棟北側外調機改修壁工事	2,585,000 円	当期収益より調達
公	5	1階換気設備改修工事	22,440,000 円	当期収益より調達
公	6	2病棟病室内全熱交換器更新工事	8,360,000 円	当期収益より調達
公	7	1病棟処置室及び2病棟勤務室全熱交換器更新工事	532,000 円	当期収益より調達
公	8	ナースコール設備	50,000,000 円	当期収益より調達
公	9	膨張タンク更新	3,000,000 円	当期収益より調達
公	10	補給水タンク更新	3,300,000 円	当期収益より調達
公	11	エレベーター3号機機能維持更新	324,000 円	当期収益より調達
公	12	エレベーター4号機機能維持更新	376,000 円	当期収益より調達
公	13	誘導灯LED照明更新工事	6,500,000 円	当期収益より調達
公	14	2階病棟北側外調機設置改修	14,000,000 円	当期収益より調達
公	15	受水槽(コーティング)工事	13,068,000 円	当期収益より調達
公	16	5階機械室集中監視盤設置	20,000,000 円	当期収益より調達
公	17	検査生化学分析装置更新	4,125,000 円	当期収益より調達

公	18	自動錠剤分包機	11,110,000 円	当期収益より調達
公	19	調剤支援システムハード更新	2,185,000 円	当期収益より調達
公	20	1病棟特浴ベッド新規入替	4,785,000 円	当期収益より調達
公	21	3階旧事務室空調機更新工事	1,573,000 円	当期収益より調達
公	22	調理移動台車（2台）	154,000 円	当期収益より調達
公	23	保温食器（300）・ポリプロピレン汁椀（400）	957,000 円	当期収益より調達
公	24	ノートパソコン（デイケア他）2台	400,000 円	当期収益より調達
公	25	ティーサーバー交換（2病棟・5階食堂）	500,000 円	当期収益より調達
公	26	プリンター	131,000 円	当期収益より調達
公	27	プリンター（ゆかわ支所）	66,000 円	当期収益より調達
公	28	ウインケア導入費含ハードウエア更新	3,430,000 円	当期収益より調達
公	29	ウインケア導入費含ハードウエア更新（ゆかわ支所）	1,210,000 円	当期収益より調達
公	30	ファイルサーバー更新	627,000 円	当期収益より調達
公	31	栄養管理システム	4,563,000 円	当期収益より調達
公	32	ウインケア更新	1,800,000 円	当期収益より調達
公	33	ウインケア更新（ゆかわ支所）	1,010,000 円	当期収益より調達
公	34	B2病棟パーテンション倉庫	1,000,000 円	当期収益より調達
公	35	A病棟屋上防水工事	6,468,000 円	当期収益より調達
公	36	LED照明交換工事	17,600,000 円	当期収益より調達
公	37	全自動錠剤分包機	10,050,000 円	当期収益より調達
公	38	バリアフリースケール	193,000 円	当期収益より調達
公	39	リクライニング入浴椅子	182,000 円	当期収益より調達
公	40	浴室用ストレッチャー	352,000 円	当期収益より調達
公	41	空気清浄機	132,000 円	当期収益より調達
公	42	C棟4階空調機交換工事	3,278,000 円	当期収益より調達
公	43	非常放送備更新工事	6,270,000 円	当期収益より調達
公	44	オンライン資格カードリーダー	275,000 円	当期収益より調達
公	45	院内ファイルサーバーシステム更新	415,000 円	当期収益より調達
公	46	ノートパソコン（4台）	720,000 円	当期収益より調達

公	47	応接セット	150,000円	当期収益より調達
公	48	電子カルテ	200,000,000円	当期収益より調達
公	49	栄養管理システム	2,648,000円	当期収益より調達
公	50	防水塗装工事	6,600,000円	当期収益より調達
公	51	空調システム更新	11,000,000円	当期収益より調達
公	52	日縅寺側フェンス設置	7,700,000円	当期収益より調達
公	53	免荷歩行訓練器	3,283,000円	当期収益より調達
公	54	ストレッチャー浴槽	5,720,000円	当期収益より調達
公	55	リハビリ部門システム	9,130,000円	当期収益より調達
公	56	病棟PC入替	1,100,000円	当期収益より調達
公	57	訪看オンライン請求機器一式	424,000円	当期収益より調達
公	58	MEDIC DIETシステム更新	3,032,000円	当期収益より調達
公	59	外階段排水工事	200,000円	当期収益より調達
公	60	天井埋込エアコン	2,148,000円	当期収益より調達
公	61	天井埋込エアコン	2,148,000円	当期収益より調達
公	62	冷結庫	1,500,000円	当期収益より調達
公	63	充填機	2,624,000円	当期収益より調達
公	64	ドゥコンディショナー（ホイロ）	1,000,000円	当期収益より調達
公	65	コピー機	614,000円	当期収益より調達
公	66	コピー機	614,000円	当期収益より調達
公	67	コピー機	614,000円	当期収益より調達
公	68	ルームエアコン	300,000円	当期収益より調達
公	69	ルームエアコン	779,000円	当期収益より調達
公	70	ルームエアコン	779,000円	当期収益より調達
公	71	コピー機	797,000円	当期収益より調達
管	72	コピー機	114,000円	当期収益より調達
公	73	勤怠システム（クロノス）	1,832,000円	当期収益より調達
管	74	勤怠システム（クロノス）	262,000円	当期収益より調達